

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～19	日 本 史	20～33
世 界 史	34～51	地 理	52～63
数 学	64～66		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。

なお、以下の注意事項も参照すること。

- ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

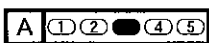
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

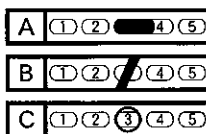
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

唐の後半期には、⁽¹⁾チベットと⁽²⁾北アジアの国が強勢を誇り、国内では有力藩鎮が⁽³⁾跋扈し、唐朝はおおむね劣勢に立たされていた。

その頃、⁽⁴⁾韓愈(768—824年)は「論仏骨表」という文章で「仏教は異民族の教えに過ぎない。それは後漢の時に中国に入ってきたものであり、それ以前には存在しなかった」(意識、以下同)と記している。今日では、仏教は前漢時代にはすでに伝わっていたとされることが多いが、韓愈は同じ文章の中で「仏法は後漢の第二代皇帝の明帝(在位 57—75年)の時になって初めて存在したものだ」と記している。これは『後漢紀』明帝紀に見える「明帝の夢に大きな光輝く金色の像が現れた。明帝が⁽⁵⁾群臣に尋ねたところ、『それは西方の仏という神ではないでしょうか』と答える者があった。そこで天竺に使者を派遣して仏道を将来させた」という伝説によっているものと思われる。

この伝説の背景には、明帝の時代に西域諸国との国交が回復され、西域との往来が増えたことがあると考えられる。後漢ではさらに第四代皇帝の和帝(在位 88—105年)の時にも積極的な西域進出が進められ、多くの情報や文物が中国にもたらされた。⁽⁶⁾インド方面についても、『後漢書』には西北インドで栄えた⁽⁷⁾貴霜(クシャーナ朝)の情報が残されており、この王朝を知る上での貴重な史料となっている。⁽⁸⁾中国・インド間の⁽⁹⁾仏僧の往来はその後も長く続き、多くの仏典が中国にもたらされ、⁽⁹⁾東アジア各国の仏教の礎となっていった。

ところで、韓愈は「原道」という文章で「今や異民族のものである仏教を、古代の優れた王達の教えに基づく儒学の上に置いて尊重している。このままだといずれ異民族の文化にとってかわられ、中国本来の文化は失われてしまうだろう」と述べている。韓愈は、⁽¹⁰⁾則天武后をはじめ多くの為政者が仏教を保護し、仏教の信者や寺院が急速に増加していったのに対し、⁽¹¹⁾哲学としての儒学が長く停滞し続けていたことに危機感を募らせていたのである。とは言え、仏教も常に恵まれた環

境に置かれていたわけではない。政治権力からの弾圧を受けることもしばしばであり、とりわけ北魏の太武帝(在位 423—452 年)の仏教弾圧は有名である。韓愈⁽¹²⁾に近い時代にも唐の武宗(在位 840—846 年)による「会昌の廃仏」(845 年)があった。

韓愈は儒学の哲学としての再生を志したが、その志は後世に引き継がれて宋学⁽¹³⁾の源流となった。宋学では経典の伝統的な字句解釈より、その哲学的な理解と思弁が重視されたが、そこには禅宗からの影響も少なくなかった。宋学はやがて南宋において朱子学として大成されることになるが、朱熹は自著の序説で韓愈の「原道」の一節を引用している。そして朱子学では「華夷の別」が強く説かれること⁽¹⁵⁾となった。

問 1 下線部(1)について、この時代に起こった下記の a～d の出来事について、時代的に古いものから順に並んでいるものをア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------|-----------|
| a 黄巢の乱の勃発 | b 安史の乱の終結 |
| c 朱全忠の唐への帰順 | d 両税法の実施 |
| ア c→b→d→a | イ b→d→a→c |
| ウ d→b→c→a | エ d→b→a→c |

問 2 下線部(2)について、7—9 世紀にラサを都としたチベットの王国の中国での名称を漢字 2 字で解答欄に記入せよ。

問 3 下線部(3)について、東突厥を滅ぼして王国を築いたトルコ系騎馬遊牧民の名称をカタカナで解答欄に記入せよ。

問 4 下線部(4)の韓愈は名文家として唐宋八大家に数えられるが、唐宋八大家に数えられていない人物をア～オのうちから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 白居易 イ 柳宗元 ウ 欧陽脩 エ 司馬光 オ 王安石

問 5 下線部(5)の『後漢紀』は、後漢時代の歴史を年月の順にまとめた歴史書であるが、同様の記述法をとり孔子が編纂したとされる歴史書は何か。ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 『春秋』 イ 『史記』 ウ 『書経』 エ 『論語』

問 6 下線部(6)の和帝に自製の紙を献上したことで知られる宦官は誰か。ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 班固 イ 劉向 ウ 鄭玄 エ 蔡倫

問 7 下線部(7)について、この王朝に関わる出来事として正しくないものをア～エのうちから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア カーリダーサが活躍した イ 第四回仏典結集
ウ エフタルを滅ぼした エ プルシャプラを都とした

問 8 下線部(8)について、往路・復路のどちらか一方でも海路を用いた人物をア～エのうちから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 仏図澄 イ 義浄 ウ 玄奘 エ 法顕

問 9 下線部(9)について、6世紀前半に仏国寺が建てられた都をア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 開城 イ 平壤 ウ 漢城 エ 慶州

問10 下線部(10)について、則天武後のなしたこととして間違っているものをア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 新しい文字を作った
イ 科挙出身官僚を重用した
ウ 周の制度を模範とした
エ 府兵制を全面的に廃止した

問11 下線部(11)について、唐代における儒学の停滞は、科挙に用いるために『五経正義』によって經典の解釈が統一されたことが一因だと言われている。この『五経正義』の編纂に関わっていない人物をア～エのうちから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 顔真卿 イ 呉道玄 ウ 孔穎達 エ 太宗

問12 下線部(12)について、太武帝に仏教弾圧を勧めた道教の指導者によって始められた道教の宗派は何か。ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 正一教 イ 全真教 ウ 太平道 エ 新天師道

問13 下線部(13)について、禅宗や道教の影響を受けながら儒学を新たな境地に導き、朱熹によって「宋学の祖」と呼ばれた北宋の儒学者は誰か。ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 程頤 イ 蘇軾 ウ 王陽明 エ 周敦頤

問14 下線部(14)について、北魏の頃に禅宗を中国にもたらしたインド僧は誰か。ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 慧遠 イ 寇謙之 ウ 達磨 エ ツォンカパ

問15 下線部(15)について、南宋において華夷の別が強く説かれたのは、隣国から圧迫されていたからであるが、南宋と隣接する国として正しいものをア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 遼 イ 金 ウ 高麗 エ 南詔

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

封建社会から資本主義社会への移行は国ごとにさまざまであった。

荘園崩壊から資本主義発達の方向への変化が早くあらわれたのは、ヨーロッパ辺境のイギリスであった。イギリスは、征服王朝であったために相対的に王権が強く、このために農民の領主からの解放が進みやすかったのである。また戦争、黒死病の流行、気候変動による飢饉が労働力不足を招いたことも農民の束縛を緩めた。解放された農民の一部は独立自営農民となったが、他方で共同体が解体されたため実質的平等が崩れ、貧困化する者も出た。また海峡をはさんだフランドル地方との交易で高まった羊毛需要は、農用地の牧場転換をもたらし、耕作地を失う農民も出た。これらの者は、豊かな農民、地主、あるいは毛織物工業の経営者に雇用されたりしたが、ほかの者は村を離れ、放浪したり、発達してきた都市へと流れ込んだ。この後スペインとの対立に勝利したイギリスは、海外植民地の獲得に乗り出し、オランダ、フランスとの戦いにも勝利して最大の海外植民地を所有する国家となった。これが領有植民地を結ぶ三角貿易を可能とし、綿織物工業に始まる産業革命を起こすことになる。そして18世紀から19世紀には大規模農業経営への転換が奨励され、農民は土地を追われ、多くは建設されたさまざまな工場の労働者となっていった。

イギリスの農業中心社会から工業中心社会への転換は長期を要したが、ほかの諸国ではどうだったろうか。イギリスと常に対抗しあいながらヨーロッパでの大国の地位を保ってきたフランスでも早い時期に農民が解放され、自営農民への転化が生じたが、その後王権が強化され、絶対主義の下で身分制が固定されることになった。絶対主義体制の下で行われた対外戦争は国家財政を圧迫し、ことに世界各地でイギリスと戦った7年戦争の敗北は、体制の行き詰まりをはっきりさせた。これを受けて改革派官僚による改革が行われたものの絶対主義体制下で大きな変化は生じにくかった。人口の多くを占め、貧困状態にあった農民は、処遇に不満を強めていた有産市民層とともに絶対主義打倒の革命を起こし、封建的制約、封建的地代を一挙に無償で廃止した。この結果自営農民が多く生まれ、19世紀フランスはイギリスと比べて高い農業人口を維持することになった。他

方でこれは、農村に過剰な人口が滞留し、国内市場の不足、発達の緩慢性というフランス資本主義の特徴を生む一つの原因となった。

フランスと対照的な農民解放の経過をたどったのが神聖ローマ帝国(ドイツ)とロシアである。神聖ローマ帝国では教皇権の衰退とともに諸侯、自由都市が台頭⁽⁹⁾し、早期に農民の自由化が起こった地域もあったが、東部では逆に16世紀以降穀物輸出のために農民の土地緊縛が強まった。その中で力をつけたプロイセンは、啓蒙専制君主の下で農奴解放を試みたが成功せず、ナポレオンとの戦いに敗北⁽¹⁰⁾したのちに近代化を目指して農奴解放と身分制の廃止を行った。ロシアの場合にも18世紀に至り、農奴制が強化されたが、これまた19世紀半ばに戦争敗北により農奴解放を皇帝⁽¹¹⁾の発意で行うことになった。プロイセン、ロシアともに農民の解放は、有償で行われたので大土地所有の制度が維持された。このようにドイツ、ロシアの場合にはイギリス、フランスへの立ち遅れが認識され、国家主導で上から農民を解放することになった。ここにみるように、資本主義の発達に向かう道すじには、各国ごとの特徴があった。

問 1 下線部(1)に関する以下の問いに答えよ。

- ① イギリスと呼ばれる地域のうちイングランドに成立したアングロ＝サクソン系国家を整備し、統一を進めた王は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ノルマンディーにあったノルマン人が、イングランドに上陸し、アングロ＝サクソン人の軍を破った戦いはどこで行われたか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ ②の戦いの結果イングランドに成立したノルマン朝の王は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 2 下線部(2)に関する以下の問いに答えよ。

- ① フランドル地方の交易港はどこか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② イングランド側の交易港はどこか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 3 下線部(3)に関する以下の問いに答えよ。

- ① 農用地の牧場への転換は農民の窮乏を呼ぶとして批判した知識人は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ①の人物は、このために著作を著した。それを語群Dから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ ①の人物と親交を結び、カトリック教会の腐敗を強く批判した人物は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 4 下線部(4)に関する以下の問いに答えよ。

- ① スペインがオスマン帝国海軍を破り最盛期を迎えたときの国王は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② スペイン海軍がオスマン海軍を破った海戦はどこで行われたか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ このときスペインと対決し、無敵艦隊を破る勝利をもたらしたイギリスの国王は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 5 下線部(5)に関する以下の問いに答えよ。

- ① オランダは、独立を達成し、その商船隊で世界商業を牛耳り、国際政治にも大きな影響を及ぼす存在となった。こうした国家をなんと呼ぶか。語群Dから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② オランダと対抗するため航海条例を制定したイギリス議会の指導者は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 6 下線部(6)に関する以下の問いに答えよ。

- ① ブルボン朝最初の王でユグノー戦争を収めた君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ①の君主が信仰を個人の自由と定めるために勅令を発した地はどこか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ 王権の中央集権的強化に反対して起こった貴族反乱を の乱とよぶ。 の中にあてはまる語を語群Dから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 7 下線部(7)に関する以下の問いに答えよ。

- ① 7年戦争の過程で、インドにおいてイギリスがフランスに勝利した戦いを の戦いとよぶ。 の中にあてはまる語を語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ①の勝利に貢献した東インド会社書記はだれか。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ 戦争を終結させたパリ条約において、アメリカ大陸でスペインからイギリスへ領有が移ったのはどの地域か。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 8 下線部(8)に関する以下の問いに答えよ。

- ① 改革は、国家の経済関与を批判し、税軽減、穀物取引自由化、ギルド廃止などを掲げた。このような考えをなんと呼ぶか。語群Dから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ①の考えで改革を推進した政治家は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 9 下線部(9)に関する以下の問いに答えよ。

- ① ドイツ諸都市のつくるハンザ同盟の中心都市はどこか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ハンザ同盟が古くから商館をおいていたロシアの都市はどこか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問10 下線部(10)に関する以下の問いに答えよ。

- ① 「君主は国民の第1の僕である」と述べたとされる啓蒙専制君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ①の君主に影響を与えたとされ、宗教家の偽善を攻撃し、カトリック教会を非難した代表的な啓蒙思想家は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ ②の思想家が、イギリスを賛美し、フランスの後進性を批判して著した著作はなにか。語群Dから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問11 下線部(11)に関する以下の問いに答えよ。

- ① バルト地方へ領域を拡大し、その戦費を得るために人頭税導入により農奴制を確立した君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② ①の君主が、「西欧への窓」と呼ばれた新しい首都を建設した場所はどこか。語群Cから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問12 下線部(12)に関する以下の問いに答えよ。

- ① 農奴解放令を発した君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② 農奴解放の不徹底さのために強まったナロードニキという社会運動に、当初は属したが、後にマルクス主義に転じて「ロシア・マルクス主義の父」といわれた人物は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

語群A

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 アルフレッド | 2 アレクサンドル 2 世 | 3 アンリ 4 世 |
| 4 ウィリアム 1 世 | 5 エカチェリーナ 2 世 | 6 エリザベス 1 世 |
| 7 チャールズ 1 世 | 8 ニコライ 1 世 | 9 ハインリヒ 2 世 |
| 10 ピョートル 1 世 | 11 フェリペ 2 世 | 12 フリードリヒ 2 世 |
| 13 ヘンリ 8 世 | 14 ヨーゼフ 2 世 | 15 ルイ 13 世 |
| 16 ルッジェーロ 2 世 | | |

語群B

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| 1 ヴォルテール | 2 エラスムス | 3 クヌート |
| 4 クライヴ | 5 クロムウェル | 6 ケインズ |
| 7 シェークスピア | 8 スターリン | 9 テュルゴー |
| 10 トーマス = モア | 11 ドレーク | 12 ネットケル |
| 13 プレハーノフ | 14 ホップズ | 15 レーニン |
| 16 ロック | | |

語群C

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1 アムステルダム | 2 アントウェルペン | 3 キエフ |
| 4 ナント | 5 ニューヨーク | 6 ノヴゴロド |
| 7 ピレネー | 8 プラッシー | 9 フロリダ |
| 10 ヘースティングズ | 11 ペテルブルク | 12 マンチェスター |
| 13 モスクワ | 14 リューベック | 15 レバント |
| 16 ロンドン | | |

語群D

- | | | |
|------------|---------|----------|
| 1 アルマダ | 2 外交革命 | 3 交易国家 |
| 4 功利主義 | 5 失楽園 | 6 ジャックリー |
| 7 重商主義 | 8 修正主義 | 9 重農主義 |
| 10 哲学書簡 | 11 覇権国家 | 12 フロンド |
| 13 法の精神 | 14 方法叙説 | 15 ユートピア |
| 16 リヴァイアサン | | |

〔Ⅲ〕 帝国主義の時代には列強は、相互にさまざまな協商や協定を結んで、植民地や従属国をみずからの勢力圏として確保しようとした。日露戦争とその直後の時期に結ばれたこのような協商や協定に関するA～Dの文章を読み、それぞれの文章に関する問いに答えよ。なお、以下の空欄 および には、それぞれ同じ言葉(国名)が入る。

A. つぎの文章は、1904年4月8日に結ばれた列強の同盟条約の一部である。
これを読んで、下の設問に答えよ。

「 政府は、エジプトの政治的地位を変更する意図を持たないことを宣言する。フランス共和国政府は、同国における の行動を妨げないことを宣言する・・・

フランス共和国政府は、モロッコの政治的地位を変更する意図を持たないことを宣言する・・・」

(出典：斉藤孝編『ヨーロッパ外交史教材』東京大学出版会、1971年、25ページより訳出)

問 1 19世紀末以降のエジプトの政治的状況について述べた以下のア～エの文章から正しいものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ウラービー(オラービー)の反乱により、オスマン帝国から独立した。
- イ スエズ運河会社の株をフランスが買い取った。
- ウ 「エジプト人のためのエジプト」というスローガンが生まれた。
- エ フランスの事実上の保護国になっていた。

問 2 19世紀末以降のモロッコの政治的地位について述べた以下のア～エの文章から正しいものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ドイツがフランスと協調してモロッコに勢力を拡大した。
- イ モロッコではイスラームの王朝の支配が続いていた。
- ウ イギリスがイスラーム王朝と結んでフランスに対抗した。
- エ スペインはモロッコにおける利権をフランスに委譲した。

問 3 19 世紀末の列強のアフリカ進出について述べた以下のア～エの文章から 誤ったものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1880 年代からフランスが西アフリカからニジェール川沿いに進出した。

イ 1898 年に列強とマフディ軍の間にファショダ事件が起きた。

ウ 1885 年以来、西欧列強のアフリカ分割が進んだ。

エ 1880 年代なかば、ドイツはカメルーン、南西アフリカなどに植民地を獲得した。

B. つぎの文章は、1907 年 8 月 31 日に結ばれた列強の同盟条約の一部である。これを読んで、下の設問に答えよ。

イランに関する協定

「 X は、カスリシリンから・・・ロシアとアフガニスタンの交差点にあたるペルシア国境までを結ぶ線を越えて、・・・政治的ないしは通商的不いかなる利権も・・・求めないことを約束する。また、この地域においてロシア政府によって支持される同様の利権を、直接的にせよ間接的にせよ、妨げることがないことを約束する。

一方ロシアも、アフガン国境から・・・ケルマン・・・を経てバンダラアッバスに至る線を越えて、・・・政治的ないしは通商的不いかなる利権も・・・求めないことを約束する。また、この地域において X 政府によって支持される同様の利権を、直接的にせよ間接的にせよ、妨げることがないことを約束する。」

アフガニスタンに関する協定

「 X 政府は、アフガニスタンの政治的地位を変更する意図のないことを宣言する。・・・」

チベットに関する協定

「両当事国政府は、チベットの領土保全を尊重することを約束し、その内政にいかなる意味でも干渉しないことを約束する。・・・」

(出典：齊藤孝編『ヨーロッパ外交史教材』東京大学出版会、1971 年、26—28 ページより訳出)

問 1 19 世紀末から 20 世紀初めのイランについて述べた以下のア～エの文章から誤ったものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1891 年、イランではタバコ = ボイコット運動が起きた。

イ イラン革命は、日露戦争での日本の勝利に鼓舞されていた。

ウ イラン革命は、ドイツとロシアの圧力により、挫折した。

エ 1906 年、イランでは国民議会が開設され、立憲革命が成立した。

問 2 19 世紀から 20 世紀初めのアフガニスタンについて述べた以下のア～エの文章から正しいものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 18 世紀にイランから自立したアフガニスタンは、19 世紀末に再びイランの支配下に入った。

イ アフガニスタンは、隣国インドの侵攻を二度にわたって撃退した。

ウ アフガニスタンは、1880 年、ロシアの保護国となった。

エ アフガニスタンは、1919 年に独立することになる。

問 3 チベットについて述べた以下の文章の中で、 に入れるのに最も適した言葉を解答欄に記入せよ。

チベットでは、17 世紀に入ってダライ = ラマの政権が成立し、仏教を世俗に優先させる支配ができあがった。19 世紀になると、チベットには、 の勢力が進出してきたが、19 世紀末には、ロシア、 も進出の機をうかがうにいたった。そして、1904 年、 はチベットに強要して条約を結び、 の宗主権を認めただうえで、チベットを事実上の保護国とした。1907 年の上の条約は の特殊利権を認めたものであった。

問 4 設問A, Bの文章中の に当てはまるものを下記のア～カから選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アメリカ イ オスマン帝国 ウ 清国
エ ドイツ オ イギリス カ 日本

C. つぎの文章は、1905年7月27日に結ばれた日米間の覚書の一部である。これを読んで、下の設問に答えよ。

「タフト陸軍長官は、フィリピンにおける日本の利害は、フィリピンを合衆国のような強力で友好的な国家に支配させることだけであると述べた。桂伯は、長官の見解が正しいことを極めて強く確認した。そして、日本はフィリピンにはいかなる侵略的な意図も懐くものではないということを、明確に断言した。

桂伯は、 はロシアとの戦争の直接的な原因であったので、日露戦争の論理的な帰結として、 の問題の完全な解決がなされることが、日本にとって絶対に重要なことであると述べた……タフト長官は、……日本軍が に宗主権を打ち立て、 が日本の合意なしには他の外国といかなる条約も結ばぬように要求することは、今般の戦争の論理的な帰結であり、極東における恒久的平和に直接貢献するであろうと、述べた。」

注) 文中の桂伯とは、時の総理大臣兼臨時外務大臣であった桂太郎のこと。

(出典：*Pacific Historical Review*, Vol. 9, No. 1 (Mar., 1940), pp. 66—70 より
訳出)

問 1 設問Cの覚書で主張されていることについて述べた以下のア～エの文章から正しいものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 日本はアメリカに、日本が満州を勢力圏下に置くことを認めよと言っている。

イ 日本は、アメリカがフィリピンを勢力圏下に置くことを認めると言っている。

ウ アメリカは、日本が満州を併合してもよいと言っている。

エ 日本は、アメリカと共同でフィリピンを支配しようと言っている。

問 2 19世紀から20世紀初めのアメリカ合衆国の対外政策について述べた以下のア～エの文章から誤ったものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

ア スペインとの戦争に勝利して、カリブ海のプエルトリコを領有した。

イ 1898年、独立の王国であったハワイを併合した。

ウ スペインとの戦争に勝利して、フィリピンとグアム島を領有した。

エ 1898年、ドイツにビスマルク諸島を割譲させた。

問 3 19世紀末ごろのフィリピンに関する以下の文章の中で、に入るのに最も適した人名を解答欄に記入せよ。

1880年代、スペイン支配下に抵抗するホセ＝リサルら民族意識を目覚めさせる運動を始め、フィリピン民族同盟を結成した。これはスペインの支配に抗議する言語活動を展開したが、スペインがこれを弾圧したので、1896年、カティプーナ党が武力革命を開始した。を中心とするこの革命軍は、おりからの米西戦争に助けられて、1899年には、を大統領とする共和国を樹立した。しかし、米西戦争によってスペインからフィリピンの領有権を得たアメリカは、共和国の軍隊を破って、1902年、フィリピンを植民地とした。

D. つぎの文章は、1907年7月30日に結ばれた日露協約の一部である。これを
読んで、下の設問に答えよ。

第一条 締約国の一方は他の一方の現在における領土保全を尊重することを
約す・・・また、「ポウツマス」において調印せられたる条約および日本国
とロシア国との間に締結されたる諸特殊条約より生ずる一切の権利は互い
にこれを尊重することを約す。

第二条 両締約国は、清帝国の独立および領土保全並びに同国における列国
商工業の機会均等主義を承認し、かつ・・・一切の平和的手段により現状
の存続および前記主義の確立を擁護支持することを約す。

「秘密協約」

第一条 日本国は、・・・北の満州に於て自国の為、又は自国臣民、若しく
はその他の為、何ら鉄道又は電信に関する権利の謹與(与えること)を求め
ず、又、同地域に於てロシア国政府の扶持(すくいまもる)する該権利譲与
の請求を直接間接共に妨礙(妨害)せざることを約す。ロシア国は、南の満
州に於て自国の為、又は自国臣民、若しくはその他の為、何ら鉄道又は電
信に関する権利の謹與を求めず、又、同地域に於て日本国政府の扶持する
該権利譲与の請求を直接間接共に妨礙せざることを約す。(略)

第二条 ロシア国は、日本と との間に於て現行諸条約及び協約に
基き存在する政事上利害共通の関係を承認し、該関係の益々発展を来すに
あたり、之を妨礙し又は之に干渉せざることを約す。(略)

(出典：『日本外交文書』第40巻第一冊 173—174 ページ)

問 1 日露戦争後、上記の「ポウツマス」条約において日本が得たものを記した以
下のア～エの文章から正しいものを一つ選んで、その記号を解答欄にマーク
せよ。

- ア 2億両の賠償金
- イ 韓国の指導・監督権
- ウ 東清鉄道の敷設権
- エ 遼東半島と台湾の領有権

問 2 この協約からうかがえる当時の日露関係について述べた以下のア～エの文章から正しいものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ロシアと日本は満州を南北に分割して利権を定めていた。
- イ ロシアは朝鮮の併合を狙っていた。
- ウ 日本は満州の併合を狙っていた。
- エ 日本はロシアと朝鮮を分割することを求めていた。

問 3 この協約締結時の中国について述べた以下のア～エの文章から誤ったものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 満州や蒙古へのロシアや日本の進出に脅かされていた。
- イ 1905年に科挙が廃止されていた。
- ウ 孫文のもと憲法大綱が発表され国会開設が公約されていた。
- エ 国外において漢族の政府を目指す革命運動が広がっていた。

問 4 設問 C、D のなかの

Y

 に当てはまるものを下記のア～エから選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 清 国 イ 台 湾 ウ 沖 縄 エ 韓 国